

「3.11東日本大震災 地元紙が伝える被災状況」展

去る3月11日の東日本大震災は東北地方各地に甚大な被害をもたらしました。その惨状を被災地の地元紙はどのように伝えたか！こちらでは報道されなかった様々な状況が大きな写真とともに報道されています。

4月下旬に、宮城県石巻市に入った萩市の小池太一さんが、現地の被害状況をカメラにおさめ、6月上旬に再び現地を訪問されました。

今回は、被災地の地元新聞記事と小池さんが撮られた写真などを展示しています。

8月13日(土)～8月31日(水)

萩図書館2階研修室

情報関連ホール壁面にて

資料提供：

小池 太一氏（幕末長州科学技術史研究会 会員）

主催・問合せ：

〒758-0041 萩市大字江向552-2

萩市立萩図書館・NPO萩みんなの図書館

TEL：0838-25-6355 FAX：0838-25-5224

E-mail：tosyo@city.hagi.lg.jp



※小池さんは、岩手県釜石市にある、「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産の1つとして世界遺産候補に加えられている「橋野高炉跡」も視察されました。その写真も併せて展示します。